

令和6年度 指定管理者総合評価表(評価対象年度:令和5年度)

令和5年度事業に係る事業報告書等に基づき、指定管理者による管理運営状況について確認、検証した結果、下記のとおり評価しました。

施設名	津市美杉ふるさと資料館
指定管理者	美し郷霧山施設管理運営協議会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設の設置目的	美杉地域の歴史、考古及び民俗に関する歴史的資料等の文化遺産を収集し、保管し、及び展示するとともに、その施設を住民の利用に供することにより、郷土文化の発展に寄与する。
指定管理者の業務	(1)美杉ふるさと資料館の使用の許可に関する業務 (2)美杉ふるさと資料館の施設、設備器具等の維持管理に関する業務 (3)その他市長が必要と認める業務
評価担当部課 (問い合わせ先)	教育委員会事務局教育総務部生涯学習課文化財担当 (電話059-229-3251)

評価は◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
管理状況について	適正な人員配置	適正な人員の配置を行っていた	◎
	従事者の教育・研修	職場内で研修を定期的実施するなど、接客に関する指導がきちんと行われていた	○
	関係法令の遵守	関係法令は遵守されていた	○
	緊急時等の対応	災害時の各種マニュアルを作成し、定期的な訓練を実施していた	○
	備品等の管理	点検・整備も行われており、適切に管理されていた	◎
	個人情報保護	津市個人情報保護条例に基づき適正に実施された	◎
	施設・設備の保守点検	施設・設備の保守点検を適切に行っていた	◎
	清掃業務	清掃業務を適切に行っていた	◎
	警備業務	警備業務を適切に行っていた	◎
	環境への配慮	冷暖房の省エネ設定の徹底に努めるほか、来館者がいない時などにはスイッチOFFにするなどなどの創意工夫を行っていた	◎
	報告書等の整理及び提出	各種報告書等は整理されており、協定書に基づき期限内に提出された	◎

運営状況について	利用状況	令和2年度 1,467人 令和3年度 1,300人 令和4年度 1,556人 令和5年度 1,807人 新型コロナウイルス感染症対策の5類移行に伴い、利用者数は前年度比で15%程度増加した。	◎
	利用者満足度の向上	随時、利用者アンケートを実施していた	○
	地域や関係団体との交流・連携	定期的な会合を開いて連携を図っていた	○
	利用者の苦情、要望等の対応	苦情、要望等の対応が適切であった	○
	事業の実施状況	生涯学習課との協働による展示替えをはじめ、概ね事業計画どおり実施された	○
	その他	夏休みの地域素材を活用した木工教室を開催するなど、利用者増加へつなげる取組が行われた	○
自主事業について	自主事業の適切な実施	当初の計画どおり自主事業を開催し、特に北畠氏に関連する史跡ツアーを広く市民を対象とした事業として参加募集するなど、地域の歴史理解に資する事業が実施された	◎
雇用・労働条件について	労働関係法令の遵守	労働関係法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がなされた	○
収支状況について	収支決算状況	・支出額は指定管理料の範囲内において適正に執行された ・光熱水費の高騰等により支出は増加したが、日常の節減に努めたことにより最小限に抑えられた	○

【総合評価】 ※適正な管理運営を行ってきたかを記入する

指定管理者のもと、美杉ふるさと資料館は施設の設置目的に沿った適正な施設の管理運営がなされている。

新型コロナウイルス感染症対策の5類移行に伴い、利用者数は前年度よりも増加(+15%)している。県外のイベント(お城エキスポin横浜・12月)にもリモートで参加し、県外の人へのPR活動を行うことができた。

地域との連携においては、地域素材(杉材)を活用した体験教室(焼杉コースター作り)は参加申し込みがなく中止となったが、地域共催事業として「鯉の吹流し」を実施するなど、地域PRにつながる事業を実施するなど多気地域の情報発信拠点としての機能を果たしている。

【指定管理者に対して行った指導助言の内容・今後の業務改善(向上)に向けた考え方】

Webを通じた積極的なPR活動とともに、生涯学習課との協働による魅力的な資料展示を継続し、併せて地域行事(北畠神社や薪能等の各種文化事業等)との連携による入館者の増加を図る。

また、事業開催のPRを積極的に行って参加者増加につなげるよう指導した。(市政記者室への資料提供(投げ込み)の実施など)